

# 12月一般会計補正予算 2億1400万円の補正を可決

福祉関連、子ども・子育て支援事業計画策定、観光推進など

恋人の聖地、情報プラザを地域資源につなぐ  
「産業振興プロジェクト」を論議

七夕神社「恋人の聖地」  
に選ばれ、銘板を設置



▲大崎の七夕（織姫）神社

小郡市大崎の七夕神社、宝満川をはさんだ対岸、稲吉の老松神社とその周辺地域が、10月1日付で「恋人の聖地」に選ばれました。これは、NPO法人地域活性化支援センターが「少子化対策と地域の活性化への貢献」をテーマに展開している「恋人の聖地プロジェクト」の事業で、福岡県では福岡タワー等4カ所が選ばれています。

市と観光協会では、今回の選定を観光振興につなげようと神社入口に銘板を設置することとし、設置費100万円が提案されました。



▲稲吉の老松（ひこ星）神社

イオン小郡店内に  
情報プラザ開設

11月8日に開店したイオン小郡店内に、市の情報発信基地として「おごおり情報プラザ」が開設されました。小郡の観光パンフレットなどを置き、市民への情報提供を行っています。



▲おごおり情報プラザ

今後さらに発信力を高めていくために、將軍藤など市内の観光スポットの大型写真パネルを設置することとし、20万円が提案されました。

「産業振興プロジェクト」  
について論議

都市経済常任委員会の委員間討議で「産業振興プロジェクト」について論議が行われました。

概要は次の通りです。

『恋人の聖地』の指定、『おごおり情報プラザ』開設を契機とし、既存の地域資源である將軍藤・花立山等のスポットを結ぶ観光ルートを作り出すとともにマスコトキヤラクター『おり姫ちゃん』

『ひこ星くん』、七夕ロゴマークの活用を図ることなどを通して地域活性化を図っていくことが極めて重要です。



「おり姫ちゃん」  
「ひこ星くん」



▲七夕ロゴマークの入った  
おりひめティッシュ

あわせて、観光協会の法人化、農業の6次産業化、地元産業の活性化など、総合的な産業ビジョンを描くことが求められています。そのため、庁内に関係部署の連携による横断的な体制として『産業振興プロジェクト』の設置を検討することが必要などの意見が出されました。